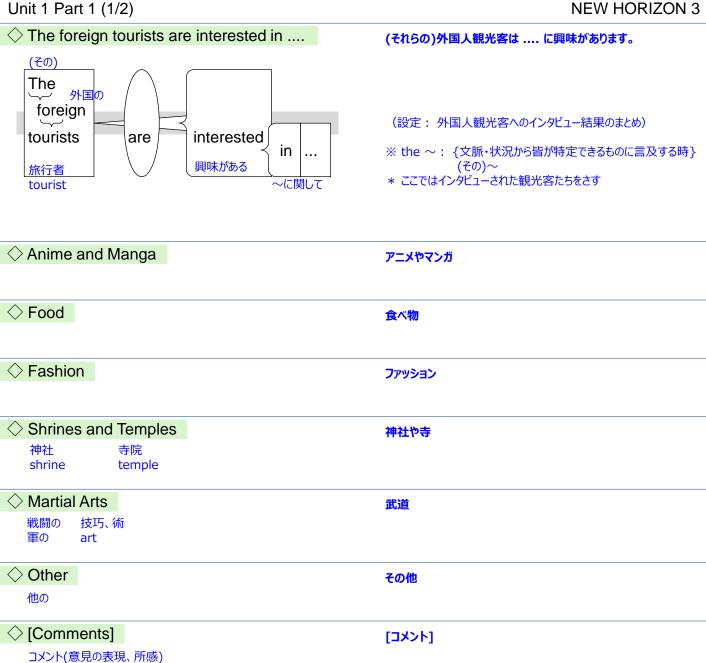
Unit 1 Part 1 (1/2)



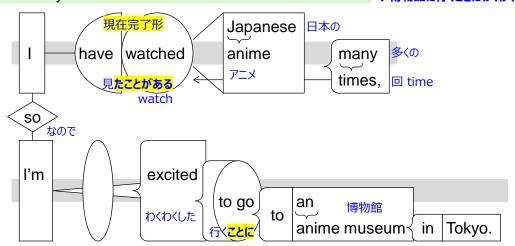
comment



Unit 1 Part 1 (2/2) NEW HORIZON 3

◆ 1. I have watched Japanese anime many times, so I'm excited to go to an anime museum in Tokyo.

私は日本のアニメを何回も見たことがあります、なので東京のアニメ博物館に行くことにわくわくしています。



- ◆ 現在完了形 < have + 過去分詞> 今とつながる過去の事に言及
- \*完了形(perfect): 動作・状態が完了・完全((今も)壊れていない)
- ※ 主語が三単現なら < has + 過去分詞>

**◆ 現在完了形(経験用法)** 

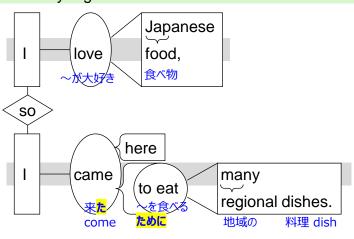
∨once:1回 ∨twice:2回 ∨three times:3回

✓ ever:今までに ✓ never:一度も~ない ✓ before:以前に

※ 不定詞(副詞用法): ☑ {感情などの原因} ~してNice to meet you.

2. I love Japanese food, so I came here to eat many regional dishes.

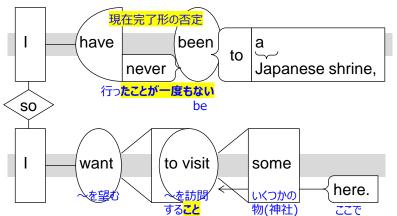
私は日本の食べ物が大好きです、なのでたくさんの、地方の料理 を食べるためにここに来ました。



- ※ 不定詞(副詞用法): ☑ {動作の目的} ~するために
- ※ regional: 地域の
- \*local: {住んでいる・話題にしている}地域の、地元の
- \*region: 地域(広め) \*area: 地域
- ※ local dishes とすると現在地や話している地域の郷土料理

◆ 3. I have never been to a Japanese shrine, so I want to visit some here.

私は一度も日本の神社に行ったことがありません、なのでここでい くつか訪れたいです。



- ◆ 現在完了形の否定文 < have/hasの後に not を置く>
- \*経験用法では not の代わりに

✓ never: 一度も~ない もよく使われる

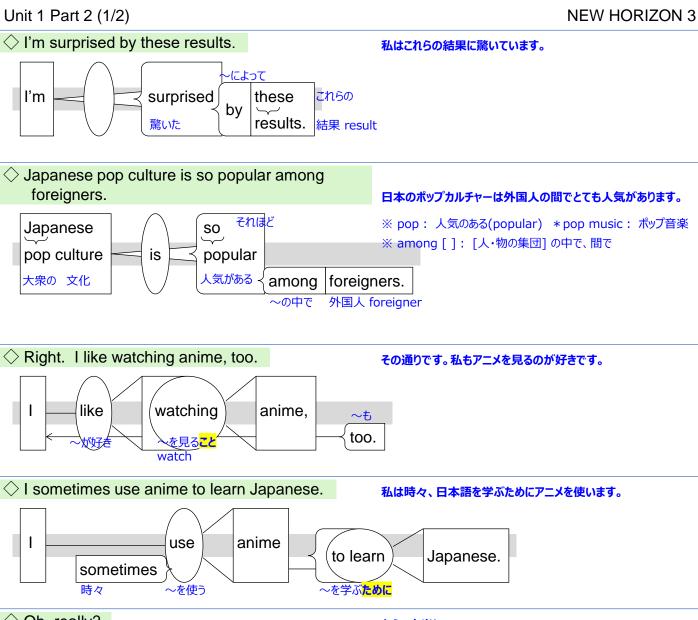
※ been: be の過去分詞

訪問する・旅行するの意味でも使われる

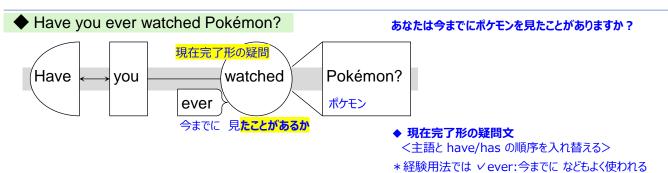
※ some: □ いくつかの人・物

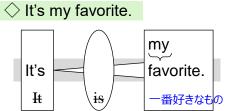
\*言及対象が明らかなら代名詞として使える/

□ いくつかの some shrines







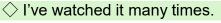


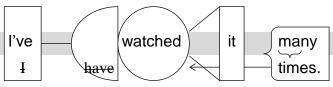
それは私の一番好きなものです。

- ※ favorite: □ 一番好きな/ ☑ 一番好きなもの
- \* most favorite とはふつう言わない (カジュアル場面や強調表現ならあり)

♦ Yes, I have.

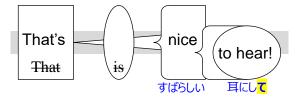
はい、あります。





私はそれを何回も見たことがあります。

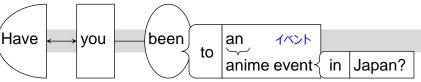
※ I've: I have の短縮形 you've, we've, they've も同様\*he has なら he's he is の短縮形と同じなので注意 she's, it's も同様



そう聞いてうれしいです!

※ 不定詞(副詞用法): ☑ {感情などの原因} ~して Nice to meet you.

◆ Have you been to an anime event in Japan?

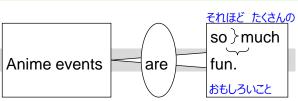


あなたは日本のアニメ・イベントに行ったことがありますか?

♦ No, I haven't.

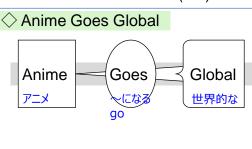
いいえ、ありません。





本当に? アニメ・イベントはとてもおもしろいです。

- = Anime events are a lot of fun.
- ※ fun: □ {不可算} おもしろいこと/□ おもしろい a fun way(おもしろい方法)
- ×Anime events are very fun. とはいわない



## アニメが世界的になる

※ go ~: ☑ ~の状態になる、に進展する before things go bad(物事(状況)が悪くなる前に)

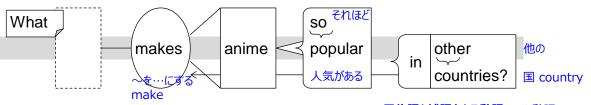
♦ There are many anime fans around the world.

世界中に多くのアニメファンがいます。



What makes anime so popular in other countries?

何がアニメを他の国でそれほど人気にしているのでしょうか。

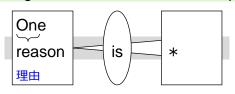


◆ 目的語と補語をとる動詞 < 動詞 + A + B>
 A = B であるように Aを~する \* 動詞は make, call など

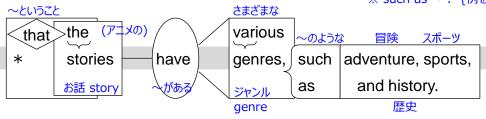
※ make A B: AをBにする

One reason is that the stories have various genres, such as adventure, sports, and history.

1つの理由は、物語にさまざまなジャンルがあるからです、冒険、スポーツ、歴史のような。



 $\times$  such as  $\sim$ : {例をあげて}  $\sim$ のような

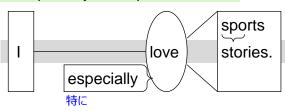




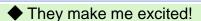
♦ I especially love sports stories.

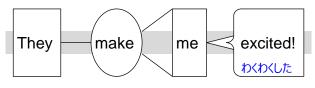
adult

child



私は特にスポーツの物語が大好きです。

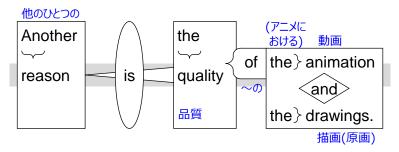




それらは私をわくわくさせます。

Another reason is the quality of the animation and the drawings.

もう1つの理由はアニメーション(動画)や描画の品質です。



- ※ the quality of  $\cdots$ : < the  $\sim$  + 前置詞句など>  $\sim$  の意味範囲を、前置詞句などで限定(特定)する時
- ※ the animation など: the で「アニメ作品(全体)の」動画 や描画であることを明示 (ないと動画や描画 一般への言及  $\rightarrow$  文脈からアニメのことと わかるのでほぼ同じ意味に)

 $\diamondsuit$  They are so delicate.

繊細な

それらはとても繊細です。

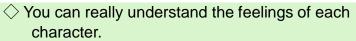
※ delicate: □ 壊れやすい、扱い注意の

a delicate balance between A and B (AとBとの微妙なバランス);

□魅力的な、優美な

delicate fingers(きゃしゃな指);

☑ 細部にこだわった、精巧な



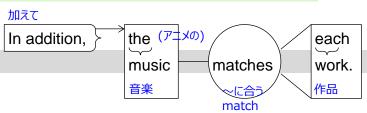
人々はそれぞれのキャラクターの気持ちを本当に理解できます。



※ You: {不特定の一般の} 人々

♦ In addition, the music matches each work.

加えて、音楽がそれぞれの作品に合っています。

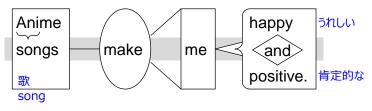


※ in addition: {直前にいったことに情報を加えるとき} 加えて

※ work: □ {不可算} 仕事 find work(仕事を見つける);☑ {可算} 作品 works by Soseki(漱石作品)

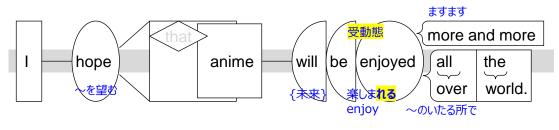
◆ Anime songs make me happy and positive.

アニメの歌は私をうれしく前向きにします。



♦ I hope anime will be enjoyed more and more all over the world!

アニメが世界中でもっともっと楽しまれる(ようになる)ことを私は望みます。

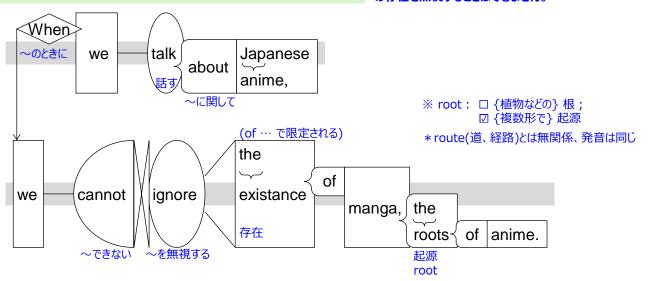


% over  $\sim$  :

- ロ ~の上に a sign over the door(ドア上の表示);
- □ ~より多く for over a year(1年以上の間);
- ☑ ~の多くの所で
- ※ all over ~: ~の全ての所で
- \*around the world(世界のあちこち)より広がり度を強調

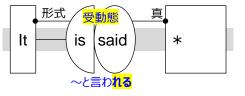
When we talk about Japanese anime, we cannot ignore the existence of manga, the roots of anime.

私たちが日本のアニメについて話す時、アニメの起源であるマンガの存在を無視することはできません。



It is said that the first Japanese manga was drawn over 800 years ago.

最初の日本のマンガは、800年よりも前に描かれたと言われていま す。

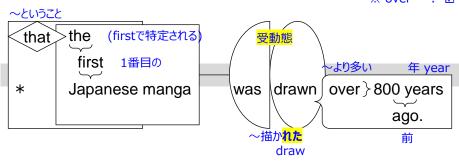


※ It is said that ~: ~と言われている\* It は形式的な主語 that 以下が木当の主語

\*It は形式的な主語、that 以下が本当の主語

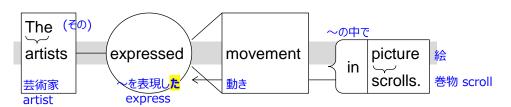
= People [They] say that  $\sim$  .

※ over ~: ☑ ~より多く for over a year(1年以上の間)



The artists expressed movement in picture scrolls.

その芸術家たちは絵巻物の中で動きを表現しました。



※ in []: ☑ [本/映画など] の中で in the newspaper;
☆ ~の中 ☑ [言語/表現様式など] で write in red ink



These techniques were used by ukiyo-e artists, too.

これらの手法は浮世絵師によっても使われました。

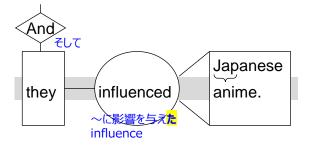


補足) 動きの表現で浮世絵でも使われた技法として、水の表現や キャラの動きを表す効果線などがある

\*細萱敦「絵巻物から絵草紙そしてマンガへの流れ」参照

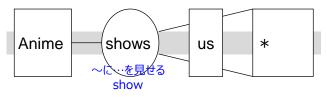
♦ And they influenced Japanese anime.

そしてそれらが日本のアニメに影響を与えました。

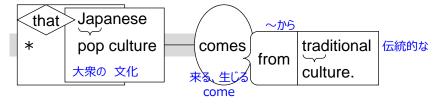


◆ Anime shows us that Japanese pop culture comes from traditional culture.

日本のポップカルチャーは伝統的な文化から来ていることを、アニメ は私たちに示しています。

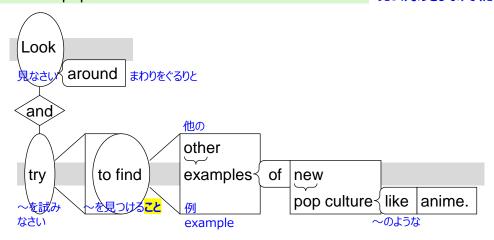


- ◆ **目的語を2つとる動詞** < 動詞 + (人) + (that 節)> (人)に(that 節であること)を~する
- \* 動詞は show, tell, teachなど



Look around and try to find other examples of new pop culture like anime.

周りに目をやり、アニメのような新しいポップカルチャーの他の例を、 見つけようとしてみてください。

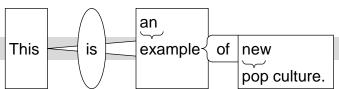


♦ How about matcha parfait?

抹茶パフェはどうでしょう。

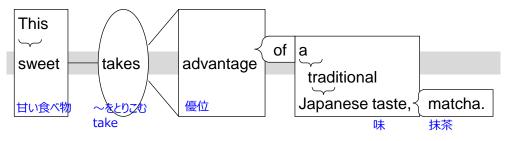
This is an example of new pop culture.

これは新しいポップカルチャーの例です。



This sweet takes advantage of a traditional Japanese taste, matcha.

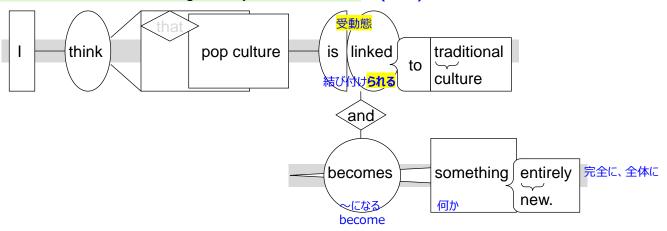
このスイーツは伝統的な日本の味、抹茶を利用しています。



- ※ advantage: 優位(であること)
- ※ take advantage of []: □ [物・事]を利用する、活かす; □ [人] につけ込む(不当に扱う)

♦ I think pop culture is linked to traditional culture and becomes something entirely new.

ポップカルチャーは伝統的な文化と結びつき、全く新しい何かにな る(ものだ)と私は思います。



- **X** A is linked to B
  - □ {状態} AはBとつながれている、関係している; ☑ {動作} AはBとつながれる(結びつく)
- \* link A to B: □ AをBにつなぐ、関係づける
- link words to objects(単語を物と結びつける)
- ※ 受動態が{状態}か{動作}のどちらを表すかは文脈で判断
- \*ここではbecome(~に変化する)との整合で判断
- ※ something: 何か
- 修飾するには、形容詞を後ろに置く something cold